



2020年3月18日

各位

会社名 株式会社ヴィア・ホールディングス
 代表者名 代表取締役社長 横川 紀夫
 (コード 7918、東証第一部)
 問い合わせ先 執行役員企画部長 関川 周平
 電話番号 03-5155-6801

特別損失の計上見込み及び2020年3月期 連結業績予想の修正に関するお知らせ

特別損失の計上見込み及び2019年11月6日に公表した2020年3月期連結業績予想の修正について、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 特別損失の計上見込み

当期においては、既存店売上の回復を目指して営業施策を進めているなかで、店舗別にみると立地環境の変化や店舗の老朽化等により収益が低下し、今後の収益改善が見込まれない不採算店舗が生じております。より抜本的に収益構造を変革していくため、グループ店舗数の約15%にあたる62店舗（第3四半期までに閉店済みの直営22店舗を含む。）を閉鎖することといたしました。これにより、閉鎖関連の特別損失として2020年3月期第4四半期連結会計期間において約600百万円を追加計上する見込みとなりました。

2. 2020年3月期 通期連結業績予想

(2019年4月1日～2020年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	25,600	50	0	△260	△8.15
今回修正予想(B)	24,500	△500	△550	△1,500	△46.34
増減額(B-A)	△1,100	△550	△550	△1,240	
増減率(%)	△4.3	—	—	—	
(ご参考)前期実績 (2019年3月期)	26,778	△685	△812	△2,841	△89.64

3. 修正の理由

新型コロナウイルスの影響により、消費マインドの急激な低下や2月下旬より宴会のキャンセルが相次ぐなど、特に大型の居酒屋において影響が大きく、前回発表予想に比べて売上高800百万円の減少とそれに伴う営業利益500百万円の減少を見込んでおります。また、上記1に記載の不採算店舗の閉店により期中の閉店が前回発表予想に比べて増加したことから、前回発表予想に比べて300百万円の売上減少を見込んでおります。

これらを勘案し、売上高は1,100百万円の減額修正、営業利益及び経常利益は550百万円の減額修正といたしました。特別損失は上記1の事情を考慮し、予想より600百万円の増加を見込み、親会社株主に帰属する当期純利益は1,240百万円の減額修正といたしました。

4. 今後の見通し

上記の業績予想の修正により、2019年7月17日公表の中期経営計画の数値目標を下回る状況にあり、計画の見直しが必要と認識し検討を進めておりますので、新たな経営計画については決定次第、公表いたします。

※本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

以上